

事務事業評価表 平成25年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 市街地整備の充実
 基本事業 安全で憩える公園の整備

事業名 **公園用地取得事業**

[1035]

部名	建設部	事業開始年度	平成24年度	実施計画事業認定	非対象
課名	管理課	事業終了年度	平成24年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 土地 (東野幌総合公園用地内)
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 公共事業 (橋梁工事)のために必要な土地を確保する。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 事業用地内の土地や支障物件の評価 ・算定価格に基づく地権者との協議 地権者の同意に基づく用地取得 売買契約締結後の登記事務

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	地権者数	人			1	
対象指標2						
活動指標1	評価件数	件			1	
活動指標2	交渉回数	回			2	
成果指標1	契約した地権者の数	人			1	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	2,377	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	2,004	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	4,381	0

費用内訳	
24年度	公有財産購入費 2,377千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	東野幌総合公園予定地内において、平成24年度から北海道により南大通整備（橋梁下部工）をスタートする予定であることに伴い、同予定地内にある敷地の一部を先行して取得する必要があるため。	事業を取り巻く環境変化	公共用地取得については、近年の経済状況等の影響もあり協議が整いにくい環境にある。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------	-------------	------------------------------------------

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

公園予定地内における北海道の橋梁工事に伴う用地の先行取得であるため、市が行うべき事業である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

北海道による市内の道路網整備を通して、市内の交通環境の充実に図り市民生活をより快適なものとする事ができる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

計画通りに用地買収ができたため

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

単年度事業のため

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

単年度事業のため